

2020年度 事業報告書

2020年 4月 1日から 2021年 3月31日まで

特定非営利活動法人VIVID

1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）の拡大と緊急事態宣言によって、多くの人が生活の変化を余儀なくされ、弱者への影響が懸念される中、障がいがある人もない人も、お互いの人格と個性を尊重し、相互に助け合える社会を共につくっていくという当法人の理念を常に確認しながら、福祉事業者としての社会的役割を果たすべく事業を行った。

1. 就労継続支援B型事業所「フレッシュスタート目白（以下フレスタ）」と指定特定相談支援事業「高次脳機能障害相談支援VIVID（以下相談支援VIVID）」を事業の柱とし、連携をすすめた。利用者の生活課題は多岐にわたり、連携によって課題への対応を充実させた。

2. コロナ禍ではあったが、フレスタでは利用者が通所できる体制を整え、在宅支援に取り組むなどを行い、前年度の訓練給付費を上回り、法人経営の安定化が一層すすんだ。

3. 会議、研修、毎日の振り返りなどを通して、チーム力の向上、支援力の向上に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額 (千円)
(1) 高次脳機能障がい者支援事業	電話等で寄せられる相談に対応し、各機関等につなげた。	年間	都内	5人/年	都民	0
(2) -①指定特定相談支援事業	障がい者のサービス利用計画作成、継続支援を計画的に実施した。 期首利用者数17人、期末利用者数19人（内高次脳機能障がい者17人）。給付費は932,698円。	月・火・木・ 金曜9:00～ 13:00 利用者都合によりその他の時間	事業所他	1人/日	契約者数 19人	1,653
(2) -②障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所事業を実施。高次脳機能障害のある人を中心に、知的・精神・身体の障害者を通所利用者として受け入れている。 年間のべ利用者数3,643人、年度末登録人数25人。給付費は27,913千円。 コロナの影響を受け、緊急事態宣言中の通所受け入れを2部制にしたり、在宅支援を導入するなど給付費を落とさない工夫を行った結果、27,913千円の給付を受けることができた。他にコロナ関連の補助金を申請し受給することで事業の安定を図った。 給付の基本報酬の算定区分に影響する平均工賃月額を維持することができた。	月曜～金曜 10:00～ 15:30	事業所	30人/週	延べ利用者数 3,643人 登録者数 25人	39,408

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 人数	受益対象者 人数	事業費の 金額 (千円)
無し						